


別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。

	<p>名前：劉芙蓉 職業：学生 所属：総合科学部 専門分野：性別研究、中国伝統文化 日本語レベル：N1 128点 英語レベル：なし</p>
---	---

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

出身国は中国です。中国でごく普通に成長してきて、ごく普通に大学に入りました。大学の生活でも単調で、勉強して、部活を参加して、毎日毎日同じように繰り返して送りました。そのままに生活して、卒業後もごく普通に就職して、ごく普通の大人になる将来をみえます。それは絶対無理です！現状を変えないといけません！外の世界を見たいです。一回だけでもみたいです。だから自分の専門を活用して、日本に留学しています。

広島の子童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

メディアが政治的な立場に影響されて客観的な報道ができないため、一般の人にもミスリードされることが多いのですから、本当の中国は一体どんな国なのか、中国の人たちがどのように生活するのか、数十年中国で生活していた人として、みんなにシェアしたいです。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

劉芙蓉です。

中国の大学で日本語を専門として三年間勉強しました。大学四年生の時、交換留学生として日本に来ました。初めて海外で長時間で暮らしているから、たまに文化的なショックを受けたことがあります。驚いただけではなく、そのショックに甘んじます。なぜならば、それこそ留学の楽しさの一つだと思うからです。

そして、単調な生活に不満を持つタイプです。毎日少しずつ変わって、進歩しようとしています。だから、異文化交流の教師になりたいくて、人との交流能力も高めるし、異文化コミュニケーションを通して自分の視野も広げるし、そして、一番大切なのは中日民間の交流に自分が力を入れることです！